



県民へのACPの普及啓発

令和3年4月27日（火）

緩和ケア地域連携カンファレンス

島根県健康福祉部高齢者福祉課地域包括ケア推進室

主任 恩田 将吾

本日の内容

1. 地域包括ケアの推進

- 地域包括ケアにおける普及啓発
- これまでの地域包括ケアに関する普及啓発

2. ACPの普及啓発

- 背景
- マンガ「ACP = 人生会議って何だろう？」
 - ・ 概要
 - ・ 伝えたいポイント
 - ・ まとめ

本日の内容

1. 地域包括ケアの推進

- 地域包括ケアにおける普及啓発
- これまでの地域包括ケアに関する普及啓発

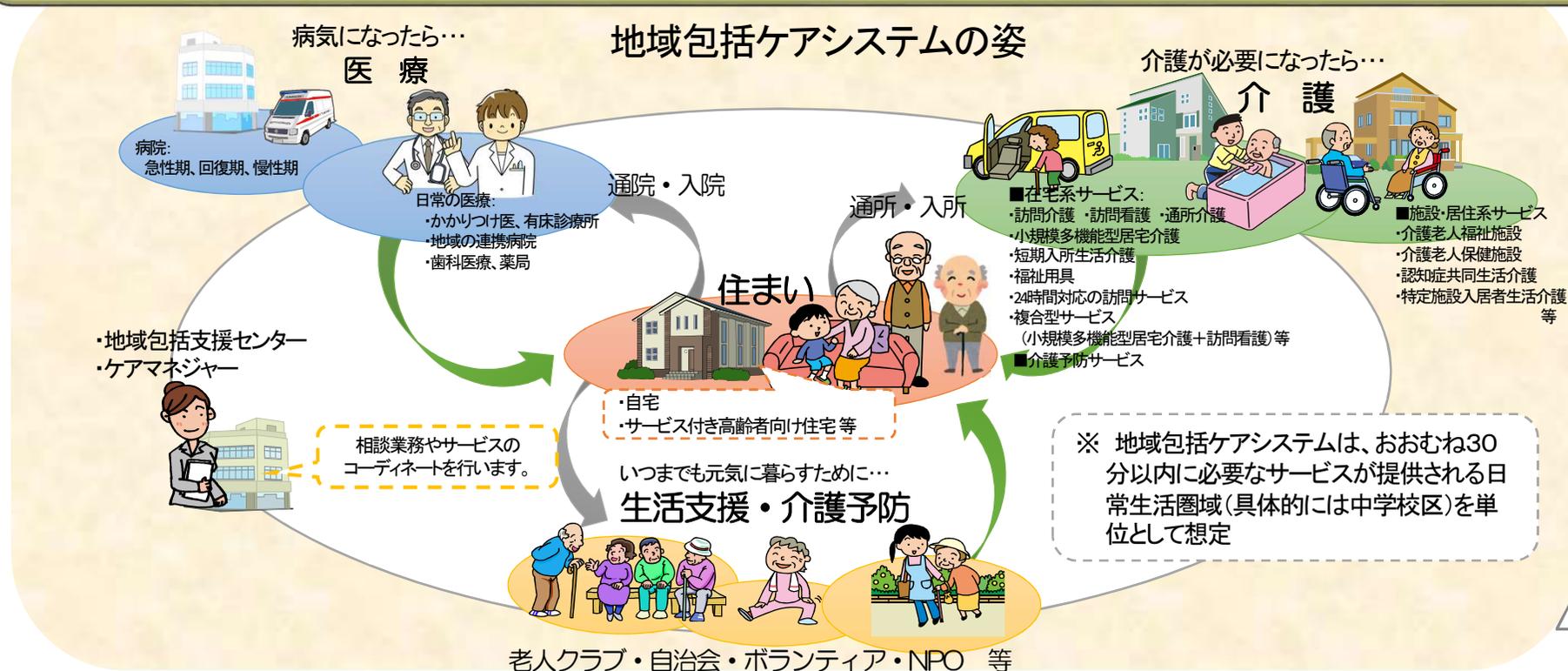
2. ACPの普及啓発

- 背景
- マンガ「ACP = 人生会議って何だろう？」
 - ・ 概要
 - ・ 伝えたいポイント
 - ・ まとめ

地域包括ケアにおける普及啓発

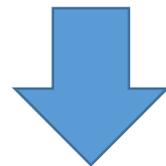
地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



地域包括ケアにおける普及啓発

できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最終段階まで送ることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援のサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築



住民（サービスの利用者、自助・互助の担い手）、医療介護関係者等（サービスの提供者）ともに、地域包括ケアの要素について理解が必要

これまでの地域包括ケアに関する普及啓発



ポータルサイトの運営（H30～）

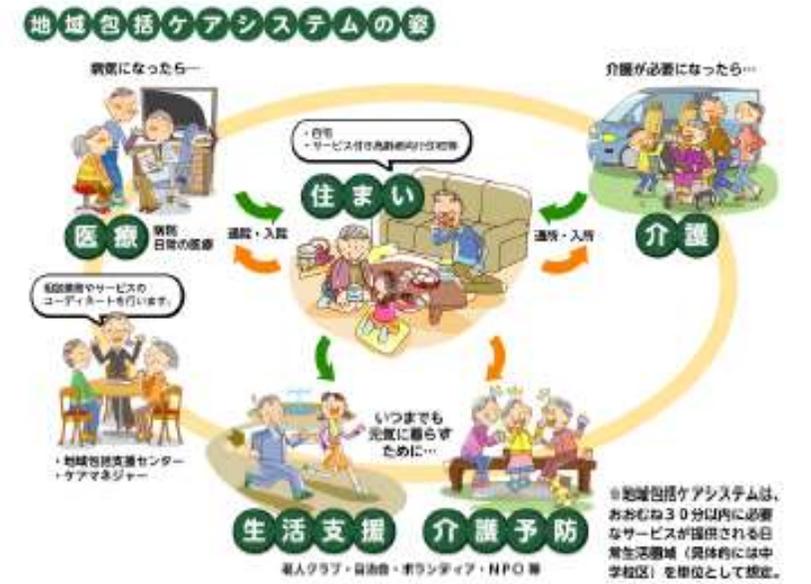
しまねの地域包括ケア
Shimane Community-based integrated care

地域包括ケアとは？
地域包括ケアシステム
施設に向けた
取組事例の紹介

研修・イベント情報
地域包括ケアに関する
講・座からのお知らせ
(別途通知など)

最新調査結果
市民の関心第一
(アンケート)

しまねの地域包括ケア
高齢者は、人口構造の変化に対応しつつ、高齢者の方ができる限り住み慣れた地域で安心して日常生活を営めるよう、市町村と一緒になって「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。



しまねの地域包括ケア
※「医療」「介護」「住まい」「生活支援」「介護予防」をクリックすると、それぞれの情報が閲覧できます。

～認知症になっても安心して暮らせるために～

マンガ「認知症になっても安心して暮らせるために」のデジタルブックはこちらからご覧ください。(外部サイト)

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)
=人生会議って何だろう?
～自分らしく最期まで暮らせるように～

マンガ「ACP=人生会議って何だろう?」のデジタルブックはこちらからご覧ください。(外部サイト)

認知症に関する情報

新着情報
2021年04月01日
『厚労省発表「認知症の地域包括ケア」』の「ACP=人生会議」について
『厚労省発表「認知症の地域包括ケア」』のデジタルブックはこちらからご覧ください。(外部サイト)

重要なお知らせ
重要なお知らせはありません。

地域包括ケアに係る医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの情報（各種調査結果、研修情報等）を掲載

これまでの地域包括ケアに関する普及啓発



DVD、動画の制作
ケーブルテレビ放映、YouTube（しまねっこCH）配信

～病院での治療が終わって自宅での療養になる時～ （H30）



たくさんの人に支えられながら
生活していくことができます



島根さん夫婦をサポートしていきます

在宅療養を支える医療や介護サービスの
内容と各専門職による連携をドラマ
仕立てて伝えます。



本編では、
島根さんの在宅療養を支える
専門職やサービスをご紹介します。
病状や地域の実情に応じて
サービス内容は検討されます。



健康長寿しまね
マスコットキャラクター

～撮影協力～

出雲医療生活協同組合 島根県看護協会 コニファー株式会社
大曲診療所 訪問介護ステーションいずも ヘルパーステーションすずらん

これまでの地域包括ケアに関する普及啓発



DVD、動画の制作
ケーブルテレビ放映、YouTube（しまねっこCH）配信

～健康づくり・介護予防から地域づくりへ～ （H30）



県内の住民組織等による健康づくりと介護予防の取組、住民同士の助け合いを伝えます。



これまでの地域包括ケアに関する普及啓発



DVD、動画の制作
ケーブルテレビ放映、YouTube（しまねっこCH）配信

～認知症になっても安心して暮らせるために～ (R1)



家族や友人など身近な人が「認知症かもしれない」と気づいた時、どうしたらいいのでしょうか？
身近な相談窓口や地域での見守り、本人や家族による集いの場などについて紹介します。



これまでの地域包括ケアに関する普及啓発



DVD、動画の制作
ケーブルテレビ放映、YouTube（しまねっこCH）配信

～「支え合い」でつながるまちづくり～ (R2)



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療・介護専門職の支援だけでなく、地域の支え合いによる取り組みが重要になってきています。

住民同士の支え合いによる移送支援サービスや、高齢者の通いの場作りについて紹介します。

これまでの地域包括ケアに関する普及啓発



マンガ（デジタルブックも公開中）、ポスター制作

～ACP = 人生会議って何だろう？～ (R2)



本日の内容

1. 地域包括ケアの推進

- 地域包括ケアにおける普及啓発
- これまでの地域包括ケアに関する普及啓発

2. ACPの普及啓発

- 背景
- マンガ「ACP = 人生会議って何だろう？」
 - ・ 概要
 - ・ 伝えたいポイント
 - ・ まとめ



国の取組み

- 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」において、ACPの重要性を強調（H30年3月改訂）
- ACPの愛称募集の上、「人生会議」に決定（H30年11月）
- ロゴマークも募集の上、決定（H31年4月）



制作者（東京都在住の医師）コメント

人生は、空に架かる虹であり、現在から未来への架け橋です。
また、一筋の流れとして分水嶺に端を発し、大河となって大地を潤して海へと回帰する川の流れです。人生の流れと次代に継続させる力がデザインコンセプト

- タレントの生稲晃子さんや関根勤さん・麻里さん親子をはじめとした5組が出演するインタビューと、専門家の方々による座談会の動画も制作・公開中（R3年3月）
- その他普及啓発リーフレットなど



本編インタビュー「人生会議してみませんか？」

県内市町村等の取組み

松江市



まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会（医師会、病院、訪看ステーション協会、介護支援専門員協会など）による市民への普及啓発や、医療介護従事者向け研修会の開催支援

出雲市



「自み慣れた自分の家で療養したい」「できれば長期の日まで、家族と一緒に自分らしく過ごさせてあげたい」・・・在宅医療は、そのような患者さんの願い、ご家族の思いから始まります。そんな「在宅医療」をひとつの選択肢にしてもらえるよう、医療や福祉などの専門職がかりやすくお話しします。

費用は
どうすれば
1417

医療費は
どうする？
通院より
高い？

どんな
ことを
してもら
える？

例えばこんな内容です
即内容・自宅での研修会として、1時間のコース
専門職によるお話し：医師による在宅医療の実際（30分）
参加者と意見交換：質問タイム、感想など（30分）
専門職によるお話しは医師のほかにもこんな専門職がいます。
（下記のコースからご希望のコースを選んでください）

コース	主な内容	講師
A	在宅における医療、かかりつけ医について	医師
B	在宅におけるお口の健康、かかりつけ歯科医について	歯科医師、歯科衛生士
C	在宅での薬剤師の仕事、かかりつけ薬剤師について	薬剤師
D	訪問看護の概要・内容について	訪問看護師
E	訪問看護、入退院支援について	医療ソーシャルワーカー、看護師
F	介護保険制度の仕組み・利用方法、ケアマネジャーの役割について	ケアマネジャー
G	アドバンス・ケア・プランニング（人生の最終段階の医療・ケアについて）、終活支援ノート、緩和ケアについて	医師、医療ソーシャルワーカー、看護師、保健師、社会福祉士

まずはお気軽に下記までご連絡ください。（開催希望時期や内容についてお問い合わせ）

出雲市役所 健康福祉部 医療介護連携課
TEL (0853) 21-8123
メール kyoukai@city.yuzumaki.lg.jp

G	アドバンス・ケア・プランニング（人生の最終段階の医療・ケアについて）、終活支援ノート、緩和ケアについて	医師、医療ソーシャルワーカー、看護師、保健師、社会福祉士
---	---	------------------------------

県内市町村等の取組み



益田市在宅医療介護連携支援センター

各市町村で終活支援ノート、ACP（人生会議）啓発リーフレットなどが作成されている。

マンガ「ACP＝人生会議って何だろう？」



概要

- 目的：ACPの基本的な部分を、広く住民に知ってもらい、各市町村等での取組み（エンディングノート等）につながるよう、住民に関心を持ってもらう（土壌（機運）づくり）
- 特徴：言葉だけではイメージしづらい内容を、ストーリー仕立てのマンガで紹介。
島根県ならではの石見神楽を取り入れ。
マンガ家は、北川なつ氏（介護現場での働いた経験もある）
- 発行年月：令和3年3月
- 発行部数：2,000部
- 配布先：市町村、保健所、病院、県医師会、介護支援専門員協会等
- PDFとデジタルブックを県高齢者福祉課ホームページで公開、ポスターも制作・配布して、周知を図っている。

マンガ「ACP＝人生会議って何だろう？」



伝えたいポイント

- 医療やケアを決めることが目的ではなく、本人が大切にしていることや望んでいることなどを、前もって考え、家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い共有することを通じて、関係者が本人の人生に寄り添っていくことが大事（そのためのプロセス）
- ポイント1
知りたくない、考えたくない人に十分に配慮する
関係性ができていないのに、土足で踏み込まない。



マンガ「ACP＝人生会議って何だろう？」



伝えたいポイント

- ▶ ポイント 2
気持ちや意見は揺れるので、何度も繰り返しおこなう。
- ▶ ポイント 3
本人のためであることはもちろん、本人に代わって決断する家族や周りの支援者の心の重荷を和らげるためでもある。



マンガ「ACP＝人生会議って何だろう？」



まとめ

ACP（人生会議）の考えを、住民や医療介護関係者等に理解していただき、誰もができる限り、住み慣れた地域（なじみの関係性）で、最後まで自分らしく暮らしていけるような社会の実現を図っていきます。

まずは、みなさま！

身近な誰か1人へ

マンガをご紹介ください！！

（この積み重ねが暮らしやすい社会の実現へ）

本日はご清聴ありがとうございました。

人生の終わりまで、あなた希望のよう暮らしたいですか?

もしものときのために「ACP」(人生会議)

ACP(アドバンス・ケア・プランニング。愛称「人生会議」)とは、あなたが大切にしていることや望んでいること、どこまでのような医療やケアを望むかについて、前もって考え、家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い共有する取組みのことです。

【話し合いの進め方(例)】

あなたが大切にしていることは何ですか? → あなたの信頼できる人は誰ですか? → 信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか?

心身の状態に気づき変化することがあるため、何度も繰り返し考え話し合います。 → 話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか?

しまねの地域包括ケア 検索

島根県 健康福祉部 高齢者福祉課
地域包括ケア推進室(電話)0852-22-6341